

皆さん、明けましておめでとうございます。

こうして画面越しではありますが、共に3学期始業式を迎えることができ、うれしく思います。

終業式の頃には予想していなかった新型コロナの急拡大に、皆さんもご家族も不安や緊張が募っていることとでしょう。私自身、ついこの間までは、「このままコロナは収束に向かうのではないか」、と楽観視していたように思います。

自分の反省もこめて、今日改めて、皆さんに呼びかけたいと思います。これは学園祭直前の8月30日、部活動制限が始まったときに、ここでお話しした言葉です。

基本的な感染症対策、

『 登校前の検温 ・ 健康観察 』『 三密の回避 ・ マスク着用 』

『 手洗い、手指消毒 ・ 換気 』『 サイレントランチタイム 』

部活動でも同様です

『 次を可能にするために、今を我慢しよう 』

今、私たちにできることを徹底しましょう。

ただ、いくら気をつけていても感染の危険は誰にでもあります。昨年春だったでしょうか、新聞にこんな内容の投稿がありました。

**「たまたま私たちより先につらい思いをしている人を傷つけるなんて、もってのほかだ」**

大切なことがストレートに伝わってきて、今も心に残っています。マスク生活は続きますが、人とのつながりや支え合いが途絶えませんように、あいさつや「ありがとう」が行き交う、温かい南高でありますようにと、心から願います。

さあ、令和3年度もあと3ヶ月となりました。それぞれの学年のラストスパートであると同時に最も大きく成長する時期だと思っています。終業式で、野球の大谷翔平選手の言葉をいくつか紹介しましたね。彼の考え方は、共通テスト間近の3年生はじめ、生徒の皆さん、我々すべてに通じると思うのです。

つまり、学問や研究、部活動に本気で挑めば挑むほど、「自分に足りないこと」や「わからないこと」、「もっと知りたいこと」が生まれ、時には壁にぶつかるはずですが、それはとても苦しいけれど、ある意味、光が見える瞬間でもあります。

何かを克服するため「よいしょっ！」と踏み出す一歩は、たとえ小さくても、たとえすぐ数字に出なくても、人に評価されなくても、こっそり自分を褒めてよい、大切な一歩だと思っています。そしてよく見れば、周りには、教えてくれる人や手本にしたい相手など、力をくれる存在が必ずいるものです。

「まず一歩」そして「一歩、一歩」。春に向かって絶えず伸びていく皆さんに贈り、始業式の挨拶とします。今年も一緒にがんばりましょう。